

ホーム連勝はならず
岐阜 0-2福岡【第6節】

ミスとPKでホーム連敗
岐阜 0-2仙台【第8節】



絵：ひらっち

today's guest
サガン鳥栖

2008 J2 第6位
対戦成績

- 第12節 08/05/06 岐阜 0-1鳥栖
- 第30節 08/08/10 鳥栖 0-0岐阜
- 第4節 08/12/06 岐阜 1-0鳥栖

2009J2

順位表 第0節終了

勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績
(岐阜から見て)

1 大阪	22p + 8	17
2 湘南	22p + 8	16 A
3 甲府	20p + 6	10 H
4 水戸	17p + 3	14 A
5 仙台	16p + 4	9 H
6 徳島	15p + 5	11 A
7 福岡	14p + 3	11 H
8 草津	13p + 1	14 H
9 愛媛	12p + 2	10 A
10 熊本	11p - 1	10
11 札幌	11p - 1	11
12 東京V	10p - 4	7
13 富山	9p - 2	6
14 鳥栖	8p - 6	8
15 岐阜	8p - 8	-----
16 横浜C	6p - 5	7
17 岡山	5p - 6	5
18 栃木	5p - 6	1 A

次回 HomeGame

第12節

東京ヴェルディ戦

5/2(土) 14:00

@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gdaidohr@hotmail.co.jp

お待ちしております!

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

4/25号

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：ささたく & 吉田鑄造

おしらせ

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3~4節ごとに発行の体制で臨んでいます。今後の発行予定です。
5/9岡山戦 5/24熊本戦 6/14湘南戦.....
よろしく願い申し上げます。

歯痒い試合内容でした。しかし観客数の少なさにはがっかり。道三まつりと同じ日だったから。まつりは岐阜市のビッグイベントなのに、FC岐阜のPRは物足りないなあ...。ホームゲームの観客動員方針、何か間違ってますか?このままでは赤字解消どころか存続できなくなります。皆さん一人が一人づつ新しい有料の観客を連れてきましょう!一口千円投資するよりずっとましだと思いますけど... (ミスター珍道)

特に前半はチャンスを多く作り、ワクワクさせてくれましたが後半相手に数少ないチャンスを決められて、0-2で惜敗。しかしながら、前節の反省点をしっかり修正してきていました。今年のチームは、1試合ごとに着実に成長してきているのがよく分かる感じがします。若い選手が多いだけに伸び代はたっぷりあります。力がうまくかみ合ったときに、とてつもない力を発揮してくれるような期待感の持てるチームだと思います。だから、見ている我々もじっくり見守っていく必要があると思うのです。また草津戦のときのような歓喜を味わいたいですからね。(岐阜の誇り)

好調に見えた前半だったが、あるいはうまく福岡にボールを持たされていただけだったのかもしれない。それくらい後半苦しい展開になってしまった。後半のシュート数の少なさがそれを物語っている。攻め込んで相手のゴールに近づいてからの「もう一工夫」が必要だ。だが光明もたくさんある。初先発の西川や水谷をはじめ出くる選手だれもがはつらつとしている。このフレッシュさを武器にしておそれず挑んでほしい。(ST57)

今夜は拍手してやれないなあ...と挨拶にくる選手たちを見ながら独り言。いや、実にもったいない試合を落としてしまったような感じがしてね。負けはしたが、徳島に得点以外(笑)なんにもさせなかったボカスタ後半。その勢いのまま攻め続け、いくつかの決定機を演出し「イケるっ」と思わせてくれたこの日の前半だったが...。やはり、決めるところで決めないところなる、という見本のような結果になってしまった。

2点のビハインドを負いながら、一人少ないというハンデを感じさせず、相手にプレスをかけ、互いをカバーしたうえで、遮二無二得点を取りにいき、追いつき追い越すことは適わないまでも一矢報いた徳島戦なら拍手を惜しむ必要もない。それなのに、予想に反して主導権を握り続けながら、あと一歩が届かない。攻めあぐねているうちに、セットプレーから失点、そしてオウンゴール。あの流れで0-2となってしまうのが勝負のイヤか?サッカーの怖さか?昨年0-1で敗れた福岡戦、あのすっきりしない試合を思い出す。できれば、レベスタでの5-1をほうふつとさせてほしいかった。チャンスを作りながらあと少し。足りないモノは何だろう?期待感はまちがいなくある。シーズンはまだ、1分の2が終わったばかり(苦笑)。恐れず、果敢に立ち向かい、熟成を重ね続けてほしい。それを見届けるために、次の試合も現地へ行くよ!(ぐん、)

昨年勝てなかったクラブは7つ。そのうちのひとつ、草津には今季ついに恩返しができる。今節の仙台にも恩返しをしたかったんだけどね...。この日の仙台は全体的に低調で、今夜勝たなきゃいつ勝つの?という状況。少なくとも、磐田と入替戦をやったのと同じチームには見えなかったな。それでも、結果は0-2。余裕があるんだか、ナメてかかってんだかワカラナイが、入替戦のような必死さ、気迫が感じられないまま時間が過ぎ、ミスが突かれて、勝ち点3を突にウマく持っていかれた気がする。余裕の有り無し。勝敗を分けた原因のひとつはこの辺りにあるのかもしれない。

「クリアは大きく外へ、シュートは枠の中へ」という鉄則を、改めて胸に刻んで次の試合に臨んでほしい。特に、初先発の1番。叩きつけるようなヘディングは、シュートの時の基本だが、自陣ゴール前ではやっちゃダメだよ(苦笑)。でもまあ、引きずるな。先代の1番も「最初の長良川では、しっかりやってくれたから。彼の場合は、オウンゴール。キミの上を行ってるな(笑)。そう、あれも仙台戦だ。ウチの1番は、その年最初の長良川・仙台戦でなにかやらかす。そんなジレンマを作らないためにも、これからずっとキミがウチの1番。ガンバレ!野垣内!!(ぐん、)

早い時間に失点し、その後は終始仙台に余裕を持った試合運びをされてしまったように感じました。仙台のボールに対する寄せが早く、岐阜の選手は自陣でボールを持ってあまり落ちていないようにも見えましたが、あとは、もう少しゴールが見えたらエリア外でもシュートを放つ積極性が欲しいです。せっかいいい位置までボールを運んでも、そこでパスを回しているだけでゴールを奪えませぬ。勝負事だから、勝ち負けがあるのは致し方ないにせよそこでゴールが奪えるかどうかによって、見る人の印象というのはものすごく変わってくると思うのです。そして、観客層の浅い人でも「また来てみようか」という気になってくると思うのです。湘南、鳥栖と強い相手の対戦が続きますが、若い選手の多いチームだけに失うものは何も無いくらいのもりでぶつかっていてももらいたいものです。そしてホームでもいい試合を、そして勝利を!(岐阜の誇り)

【セカンド】全社/天皇杯を
目差す戦いに挑んでいます

4月19日、FC岐阜2nd(以下2nd)が社会人選手権(兼天皇杯岐阜県社会人代表)予選で勝利し4回戦に勝ち進みました。次の5回戦は4月26日10:00に大垣南公園で行われます。(駐車場が少ないので注意)新入団の選手もスタメンに名を連ねるなど、チーム内でのポジション争いも熾烈中。さまざまなオプションも試されているので誰が出場するのすら予想がつかませぬ。2ndが所属する岐阜県都府リーグは、明らかに走り続けられるチームの同士の対戦。2ndも毎試合80分間走り続けます、となるとTCFはそれ以上の運動量や何かを持っている証拠。改めてプロ契約の選手のすごさを確認する機会になるやもしれません。伊藤監督が指揮をとる立ち居振る舞いを見るだけでも価値はあります。観客も次第に増えておりますので気軽に見に行かれてはいかがでしょうか?(ち~な)

ALADDIN

何も無い店だけど...
心の花が咲く...
何も無い店だけど...
心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より

「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休：日曜日(今日は営業しています)



10人になるも執念のドロ 水戸3-3岐阜【第7節】

ベンチもひっくり返すほどの強風。その風に煽られて、ピッチに乱入する人工芝シート。その風のせいもあって、リードしてるのにゴールキックやパントキックをラフ(ピッチ外)に蹴り出し、ウチのチャンスを出したのは水戸のGK本間くん。でも、やっぱり今日は俊慶だろ!

先制点は、彼のJ初ゴールにして、今季のウチのFW初ゴール!! 追い上げのPK取って、自分で決めて。終了後の挨拶で、染矢も掲げた「主役」のゲーフラ。掲げるのはいいけど、文字の入ってない方をコッチに見せてどうする?(笑)オマケに「逆向き」って言われて、自分が後ろ向きになるなんて、ステキすぎる(爆笑)おかげで、その姿を撮ろうとしてたカメラマンがキミの周りを180°回ってたぞ(苦笑)オマケに、ハンドマイクでの「今日は引き分けだったけど、次は勝ちますっ」ってセリフにシビれた。ゴール裏にいらしてたお母様に気がつかなくて、握手してる途中で、周りから教えてもらって気がつくなんてさ、どんだけ一生懸命だったんだよ...。抱き合ってるお母様の背中、嬉しさにあふれてるのがよくわかって、コッチもホロリと来てしまった。次も必ずミセテくれっ>>俊慶

この試合。後半、水戸の決定機は3回。ラッキーな面もあったが、失点を許さなかった。同じようにゲームを支配しながら負けた徳島戦との違いはそこ。ただ、仲間が言うように、「徳島戦が、その経験が生きている」ということだろう。ホイッスルが鳴るまで諦めることはない。苦さも喜びも糧にして、明日の実りへとつなげてほしい。

笠松は今日もサイコッ。そして、岐阜は、ウチの選手は、とてもステキだ!ただ、ウワサには聞いていたけど、笠松はアウェイ隔離。そして、何より「東の笠松、西の博多の森」と並び称された、スタジアムグルメが見る影もなく...。ラインナップは、ほぼ変わらないけど、冷たくなっちゃあな...。熱は無縁と思ってたネバリ丼も、ご飯が固くなつてはね。メシを食いに来たんじゃないが、それで一言。「去年来ってヨカッタ」スタグルは、文句なしにウチの優勝!(ぐん、)

水戸戦は、とにかく強い風に両チームの選手が四苦八苦する展開。ゴールキックが向かい風にあって急に向きをかえて外に出ってしまった。浮き球のパスが伸びすぎて相手選手に渡ってしまったり...そんななかFW岐阜は先制点こそ取ったものの前半は水戸の攻めに防戦一方でよく2点差で持ちこたえたな、という印象だった。後半は修正がうまくできたのか、それとも風上に立ったからか岐阜の選手が見違えるような動き。なかなか得点には結びつかないもののおきらず右へ左へボールを振る。そして終了間際の立て続けの得点で劇的な同点劇。

「あきらめない」これこそが今の岐阜の生命線だ。(ST57)

これを書いているのは22日、すでに10日以上経った試合だというのに水戸サボから見て、あの試合は「ない」ものにしたいくらい。それは岐阜サボから見たら「素晴らしい」勝ち点1だったと思うだろう。最後まであきらめない、力を抜かないことの大切さを、水戸は忘れていた。岐阜は、秋田が退場になってもなおロスタイム攻め続けて、追いついた。勝ったと言ってもいい、岐阜サボの歓喜、水戸サボの落胆。「今日の試合、勝ち誇っていい」と、私は岐阜サボ氏にメールをした。これこそが完敗である証なのだ。

しかし、なんで岐阜って笠松で負けないんでしょうね競馬場じゃないのに...(水戸サボ/izumi)

ETC高速¥1000円を活かして、何気に茨城の笠松に集まった岐阜サボ。皆が気にしていたのが「笠松グルメ」といわれる充実した飲食物の販売。前回の岐大通に水戸サボさんからの投稿で今回は壊滅状態と伝えられていたからだ。開始2時間前の開門と同時に入場し、ダンマク設置。そして、問題の「笠松グルメ」へ。アウェー入りに売店があり、そこにいろいろと販売されていた。パエリア、カレー、カツサンド...。もちろん、スイーツも。まずはパエリアから。「...」味付けは悪くない。が、冷めていて...。続いて粘り丼。これはオクラ、納豆、とろろ、めかぶ、いくらが入っているもの。さっそく箸でかきまぜてみると、「ご飯がかたい。」実は、パエリアも粘り丼も器に盛られた状態で売られており、しかもかなり時間経過したと思われるものだったのだ。これでは、味がよくても...。一方、スイーツのほうはパフェを食べた女性陣達の感想は「いいんじゃない」とのこと。

そして、試合について。結果は3-3 まず、良かった点。FWのバクが2得点(PK)。また、バクのお母様がゴール裏にみえており、試合後のコメントで「今日はお母さんがスタジアムに来てくれた。試合後には泣いていた。こうやって点を取ることで恩返しになる。」と言っていたが、今回は勝つてお母様に喜んでもらえるようにゴールを期待したい。そして、89分の染矢の同点ゴール。退場で一人少ないなか、最後まであきらめず攻め続けたことがこの結果につながった。これは、若さがいいように出たのだと思う。このいい意味でのあきらめの悪さは大事にしたい。

で、ひるがえってこの試合で見つかった課題。やはり、こども若さだと思ふ。DFの相手FWとの対応。DFの裏にボールを出されたときに寄せが甘かったり、雑だったりして失点。この日は徳島戦と同じように強風の中での試合。その時の経験が活かされてない失点だったとも思う。この試合は引き分けであったが、最後の染矢のゴールで私は帰日も気持ちに余裕をもって運転して帰れた。できたら勝ちたかったが、まあ納得のできる結果であった。(緑の小太鼓)

先制 逆転 同点 湘南2-2岐阜【第9節】

この試合、キャプテン菅が累積警告で出場停止。キャプテンマークは出場停止明けの秋田が。先制は前半19分片桐のアウトにかけたミドルシュート。この後、岐阜はハイプレスで湘南の攻撃をくい止めるが、前半終了間際に集中がきれ、Fから失点し前半終了。前に引き分けた水戸戦もそうだが、先制後のチームの方針がはっきりしていなくて、やばたつた印象が。プレスのかける位置等決め事をはっきりしないといけないのではないかと感じた。

後半は、湘南にミドルを決められて逆転されるが、佐藤、染矢の投入で攻勢に出て、その佐藤が同点ゴール。その後は打ち合いとなり、佐藤と片桐がともに決定機をはずし、湘南も決定的なチャンスを迎えるも橋内のカットで決められない等があり、そのまま2-2の引き分けで終了となった。

この試合でよかったのは片桐なのは間違いないが、交代出場した佐藤も今後に期待が持てる内容だったと思う。この試合で彼が空中戦の機会がOKの守備を含めて7回ほどあったがすべてに競り勝っていた。その中には、湘南DFのジャンとの競り合いも。今まで、岐阜はこういった空中戦の出来る選手がいなかったが、これで、岐阜にひとつ強みができたと思う。あと今年ゴール後岐阜サボに向かってパフォーマンスしてくれた選手が彼が初めて。今後もゴールとその後のパフォーマンスに期待したい。(緑の小太鼓)

実に複雑な感情がないまぜになって、ただぼうぜんとして立ち尽くしていた、終了のホイッスルの瞬間。拍手するのかもしれないけども迷ってしまふ内容と結果。現地で目の当たりに見ていたゲームのはずなのに、録画をチェックしたらところどころに思い違いがあって、それだけバモってたのかな?と思う反面、実は全然見てないんじゃないかと反省もひとしおな湘南戦。

勝ちたかったなあ~、チャンスがあっただけに...。でも、負けてもおかしくなかったとも言えるし...。特に前半、ウチのゴール前、最近の言葉で言うと(笑)バイタルエリア?それとも、アタッキングサード?の辺りで、湘南の方が人数的優位を作ってる場面が何回もあった。その他、クロスバーとか微妙な判定とかにも救われて、今季負けなしの湘南相手によくやった、と誉めたいんだけど。

あ~、それにしても淳至の...(苦笑)。左からの染矢のクロスがGKを越えた時点で、両手を突き上げかけたんだけど、「なんで、ゴールの外に転がってるの?ボール...」と、しばらく、状況が理解できなかったよ(笑)あと2失点も、冠吾が治療で外へ出てたとはいえ、最終ラインを含め、ボール保持者をフリーにさせ過ぎたように見えた。でも、DFに当たってコースが変わったんじゃないか。

それと、ヤッパリ洗一はイイなあ。何か持ってるというか、ワカッてるよね。ゴール決めたら、サボ席の方へ駆けてきてくれるトコなげ、もう、ステキすぎる(爆)ま、それはともかく、あのシュート。力任せに叩き込むのではなく、グラウンダーで柔らかく流し込む。なんというか、ゴールへ優しく送り出すような...。山形戦の初ゴールも、そんな感じだったかな?ファン感での宣言どおり、狙っちゃんいなよ、得点王>洗一。

内容から見ても、満足な結果とは言いいきれないところもあるけれど、FWのレギュラー争いが楽しみになってきたのは間違いない。これだから、スゴク楽しんだ。(ぐん、)

通りすがりの他サボですが、久々に岐阜を覗きました。片桐の意表を突いたミドルレンジのシュートが決まって先制!これは見事でした。不運な形で2失点で、逆転されたのは残念でした。ガチャの途中交代は至極納得(苦笑)後半は全然良くありませんでした...。嶋田正吾を交代せざるを得ないのが今の岐阜のツライ所なのかな?!でも交代で入れた佐藤も染谷も良かったですね。佐藤は結果を出しましたし。だからこそ全般的に緩慢さが目立った湘南に追いつけたのだと思います。その内、また観に行きます。(青赤東京/LGD)

はじめに断っておきますが、自分は岐阜サボでも湘南サボでもありません(とあるJ1のヌルサボ)。岐阜を見るのは初めてで、どんなサッカーをするのか、選手も誰がいるのか分かっていませんでした。

が、私の目の前で繰り広げられていたのは、まさしく『子供のサッカー』でした。湘南の選手がボールを奪うと、わらわらと大勢集まってくるんでボールを見える。一見原始的に見えて、実は球離れのよくない湘南のFW(阿部・アジェル・田原)に対しては効果的だった気がします。

日ごろ戦術だの何だのと言ってるけど、『原点に帰る』のも大事なのかなと思われた平塚の夕暮れなのでした。(川崎寄り/よた。)

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>